

茶病害虫防除情報

【第 10 号】

令和 8 年 10 月 7 日

鹿児島県経済連・肥料農薬課

秋整枝後の病害虫防除対策

秋整枝(秋番茶収穫)が始まりましたが、10月の気温は高く、降雨は並かやや少ない気象予報となっています。今回は高温時に発生しやすい輪斑病やカンザワハダニの秋整枝後防除対策についてお知らせします。

☆ 秋整枝後の輪斑病発生について

輪斑病は「やぶきた」園で、主に二・三番茶の摘採後に発生しますが、最近では秋整枝後にも年によっては発生がみられ、充実した秋芽の成葉を痛み、伝染源として翌年発生への影響も懸念されます。輪斑病菌は高温を好み、秋整枝時の気温が高く、雨が降ると発生が多くなります。また、輪斑病菌は硬化した成葉でも整枝による切口などの傷口から感染し、発病します。今年秋整枝時期の10月の気温は高い気象予報となっており、このため秋整枝後に輪斑病発生の恐れがあります。感染源となる輪斑病葉の多い園は少ないですが、新梢枯死症発生が多くみられる園などについては注意し、防除対策をすすめてください。

☆ 秋整枝後の輪斑病防除対策

輪斑病菌は秋整枝による葉や茎の切口から感染し、雨の日や茶園が濡れている状態での作業で感染しやすいので、「やぶきた」園はできるだけ雨天時の整枝作業は避けてください。薬剤防除法は整枝後できるだけ早く（3日以内）行います。整枝直後にカスミンボルドー、アミスター20フロアブルなどでの防除を行います。防除薬剤でストロビルリン系薬剤（アミスター、ナリア、フリントなど）は耐性菌が発生している地域、園があるため注意してください。また、米国輸出向け防除体系の茶園の場合は薬剤の選定について留意ください。

☆ 秋整枝後の輪斑病薬剤防除法

防除時期	防除薬剤	使用濃度	使用時期・回数	注意事項
秋整枝3日後迄	アミスター 20フロアブル	2000 倍	14 日前 3 回	1、アミスター 20フロアブル ファンタジスタ顆粒水和剤 フリントフロアブル 25 は、 ストロビルリン系薬剤耐性 菌発生園、地域では 使用しない。
	ファンタジスタ顆粒水和剤	3000 倍	7 日前 1 回	
	カスミンボルドー（カッパーション）	500～1000 倍	14 日前 2 回	
	テブロスフロアブル	1000～2000 倍	14 日前 2 回	
	ニマイバー水和剤	1000～1500 倍	14 日前 1 回	
秋整枝直後	フロンサイト SC	2000 倍	14 日前 1 回	
	フリントフロアブル 25	2000～3000 倍	14 日前 2 回	



秋整枝後発生の輪斑病



輪斑病菌分生子

カンザワハダニ・・・多

秋期は9月中旬頃から増加し始め、10月下旬～11月にピークとなり秋芽の充実を妨げるとともに、翌年の発生源となります。10月後半～11月前半の平均気温が17.5℃以上の場合は非休眠雌の割合が高くなるので注意が必要です。

☆ カンザワハダニ薬剤防除法

防除時期	防除薬剤名	使用濃度	使用時期・回数	注意事項
秋整枝後～ 越冬前 (10月中～ 11月下旬)	コテツフロアブル	2,000倍	7日前2回	※マイトコーネフロアブル
	ダニオーテフロアブル	2,000倍	14日前1回	摘採14日前まで
	ピラニカEW	1,000～2,000倍	21日前1回	(但し、遮光する
	マイトコーネフロアブル	1,000倍	摘採14日前1回	栽培では遮光開始
	ミルベノック乳剤	1,000倍	7日前1回	14日前まで)